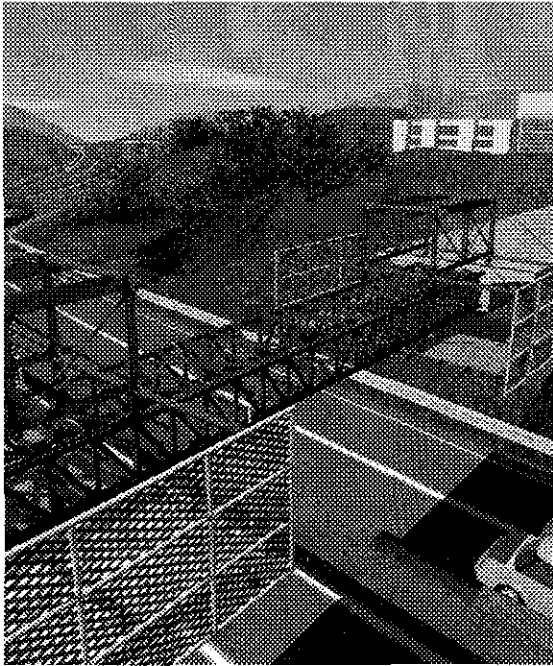


機動建設工業

機動建設工業は、新しい複合・合成橋梁およびその架設工法として、SPC工法を開発した。

同工法は、「先ず鋼トラス桁を架設し、これを埋設する形でプレストレスト・コンクリート（PC）を場所打ちでブロック施工し、支保工なしで鋼・PC合成構造（SPC）橋梁を構築する工法」で、橋梁構成要素の鋼トラス桁を、架設時に有効利用するものである。

SPC工法の特長は、



地上からの支保工なしで複合構造橋梁を架設する

①鋼とPCとの合成構造であるため、合理的・経

済的な、じん性に富んだ高品質の橋梁を建設することができ、②橋梁架設時に鋼トラス桁の構造系やPCブロック施工の順

序などを適切にコントロールすることにより、従来の張出し架設工法の場合に発生する過大な中間支点上の曲げモーメント

なお、SPC部材の特長については、大型モデルによる性能確認試験を実施し、優れた性能を有していることを検証している。

SPC工法

現地工法を約20%短縮

を低減でき、断面の縮小が図れる③鋼トラス桁を架設機材として積極的に活用することにより、地上や中間橋脚からの支保工の省略、移動作業車をはじめとする架設資機材の簡略化、施工の安全・合理化、現地工程の短縮が可能である。

また、試設計によれば、従来の張出し架設工法による橋梁（PRC構造）と比較して、20%弱の現地工程の短縮、10%弱の工費縮減が可能であるとの結果を得ている。以上のようにSPC工法は桁下空間の使用に制約のある市街地や立体交差の橋梁、あるいは渓谷・河川・沼地・海上を跨ぐ橋梁の建設に、有利性を発揮できる工法だ。